

# 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	アルカリ中和剤
会社名	株式会社 アクト
住所	徳島県吉野川市鴨島町上下島 66-3
担当部門	品質保証グループ
電話	0883-24-8887
F A X	0883-24-9278
緊急連絡	品質保証グループ
電話	0883-24-8887
推奨用途及び使用上の制限	中和及び水質浄化を目的とした製品

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

・物理化学的危険性	
金属腐食性物質	区分 1
・健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	区分 1C
目に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
水生環境急性有害性	区分 2

### ラベル要素

#### ・絵表示



・注意喚起語	危険
・危険有害性情報	金属腐食の恐れ 飲み込むと有害 重篤な薬傷・目の損傷 重篤な目の損傷 水生生物に毒性
・注意書き	【予防策】 保護眼鏡、手袋を着用すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。

- 【対応】 吸入した場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合は、大量の水で洗い流し、皮膚に刺激が生じた場合には医師の診断を受ける。  
目に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
- 【保管】 耐腐食性のある容器に保管する。  
容器を密閉して、直射日光を避け保管すること。
- 【廃棄】 内容物又は容器を廃棄する場合は、都道府県の規則に従うこと。

### 3. 組成及び成分情報

- ・単一製品・混合物の区別 混合物
- ・化学名 アルカリ中和剤
- ・成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
酸性物質	25～40	非公開
水	60～75	7732-18-5

- ・化学式または構造式 非公開
- ・化学名または製品名 アルカリ中和剤
- ・官報公示整理番号（化審法・安衛法） 非公開
- ・TSCA 登録の有無 なし
- ・EINECS No. なし
- ・国連分類及び国連番号 なし

本製品は、毒物及び劇物取締法、消防法に於ける危険物、PRTR 法には該当しない。

### 4. 応急措置

- ・眼に入った場合 直ちに多量の清水で 15 分以上洗眼し、速やかに医師の手当を受ける。
- ・皮膚に付着した場合 速やかに清水で洗浄し、異常があれば医師の診断を受ける。
- ・吸入した場合 よくうがいをし、新鮮な空気の場所に移動し安静する。異常があれば医師の診断を受ける。
- ・飲み込んだ場合 多量の清水を飲ませて吐かせる。意識がない場合は直ちに医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

- ・消火方法 周辺火災時は、容器を安全な場所に移動し、周辺の可燃物の燃焼を抑制する。消火水を火元に向け消火する。
- ・消火剤 水、粉末消火剤、炭酸ガスなど。

## 6. 漏出時の措置

- ・回収・中和

漏出を止め、おがくずや、ウェス等に吸収させて回収する。  
回収できない分は、ソーダ灰、消石灰、炭酸カルシウム等を用いて中和し、大量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
- ・保管方法
- ・保管容器材料

保護眼鏡、手袋等を着用し、眼、皮膚、衣類との接触を避けること。飲み込みを避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。直射日光や高温になる場所を避け保管し、容器の蓋をきちんと締めること。

塩化ビニール、ポリエチレン、FRP 等必要な強度を持った耐酸性の容器。

## 8. 暴露防止措置

- ・管理濃度
- ・許容濃度
- ・ACGIH(1994-1995 年度版)
- ・OSHA(1993 年度版)
- ・設備対策
- ・保護具 : 保護眼鏡  
保護手袋  
保護衣

設定されていない。

設定されていない。

設定されていない。

設定されていない。

取扱い近くに手洗い、洗眼設備等、必要に応じて設置する。

ゴーグル型

耐酸用ゴム手袋を着用。

耐酸用ゴム長靴、前掛けなど

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・化学名または製品名
- ・外観等
- ・pH
- ・沸点
- ・融点
- ・蒸気圧
- ・比重
- ・溶解度
- ・凝固点

アルカリ中和剤

無色透明な液体

1.0 以下

データなし

データなし

データなし

約 1.20 (20°C)

データなし

データなし

## 10. 安定性及び反応性

- ・引火点
- ・発火点
- ・爆発限界
- ・粉塵爆発性

データなし

データなし

データなし

データなし

・自然発火性	データなし
・可燃性	データなし
・分解温度	データなし
・自己分解性	データなし
・酸化性	データなし
・安定性	データなし
・自己反応性	データなし
・反応性	酸化剤、塩基類及び還元剤と反応する。

## 11. 有害性情報

・刺激性 : 皮膚	軽度の刺激性がある。
眼	刺激性がある。
・感作性	データなし
・急性毒性	データなし
・慢性毒性	データなし
・発ガン性	データなし
・生殖毒性	データなし
・催奇形性	データなし
・変異形性	データなし
・その他(水と反応して有害ガスを発生するなど)	データなし

## 12. 環境影響情報

・分解性	データなし
・蓄積性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。 自社で処理する時は、消石灰、ソーダ灰等を加えて中和させたのち、大量の水で希釈して廃棄する。
汚染容器	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適正な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

## 14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による。

## 15. 適用法令

該当する法令なし。 化審法、労安法、消防法、毒物及び劇物取締法

## 16. その他

### <記載の内容の取扱い>

総ての資料や文献を調査したわけではないので情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説に訂正などあった場合内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合には、出典等をよく検討されるかまたは試験によって確かめられることをお薦めします。

なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施された上でお取り扱い願います。

【問い合わせ先】 担当部署：品質保証グループ（尾北）  
電話：0883-24-8887 FAX：0883-24-9278